

第 8 回社会教育委員会議	
開催日時	令和 5 年 10 月 12 日 (木) 午後 3 時～午後 5 時
会 場	クロスパルにいがた 4 階 403・404 講座室
出席者	<p>【社会教育委員】 雲尾 周、佐藤 裕紀、角野 仁美、司山 園美、 清水 隆太郎、平山 智康、山岸 則子 計 7 名、 ※敬称略</p> <p>【事務局】 地域教育推進課長、中央公民館長、中央図書館長、 生涯学習センター所長、生涯学習センター職員 4 名 計 8 名</p>
内 容	<p>1 開会</p> <p>2 報告事項 (1)新潟市社会教育委員会議開催日程及び各種大会・研修日程について ○報告資料 1 に基づき、事務局より社会教育委員会議日程について説明しました。 【主な質問・意見等】 ・質問や意見はありませんでした。</p> <p>3 協議事項 (1) 第 23 回新潟県社会教育研究大会胎内大会分科会について ○協議資料 1-1～2 に基づき、司山委員、角野委員より分科会発表のリハーサルを行いました。 【主な質問・意見等】 &lt;テーマ設定やグループに分かれた経緯について&gt; ・第 35 期新潟市社会教育委員会議は第 1・2 回会議で議論を交わし、色々な内容が出てくる中で、調査・研究テーマを学社民の融合・連携や共生社会というキーワードに絞った。それらを総括するものとして「社会的包摂の実現に向けた社会教育の在り方の検討」というテーマを設定した。共生社会については内容が広いため、障がい者の方と外国籍の方に焦点を当てた。</p> <p>&lt;分科会発表の進め方について&gt; ・社会教育委員として提言をする、建議を作成することは大事なことだと思うが、それ以上に新潟市社会教育委員会議が色々なゲストを招いて話を聞きながら検討を進めているというプロセスそのものが良いと感じており、調査研究活動の進め方自体を発表することも良いと思う。 ・発表の最初に第 35 期新潟市社会教育委員会議のテーマ設定の経緯をスライド 1 枚にまとめられると良いのではないかと。</p> <p>&lt;分科会発表最後のまとめについて&gt; ・第 35 期新潟市社会教育委員会議として実践活動がないため、何を発表すればよいか分からない。 ・各グループの調査・研究活動から分かった課題をまとめて発表の最後に話すとまとまった発表になると思うが、まずは各グループの提言を発表できればいいのではないかと。 ・まとめとして、新潟市社会教育委員の中に既にこのような活動をしている委員がいるという事例を挙げるのはどうか。</p>

<p>内 容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の発表では、社会教育委員としての在り方を委員個人の事例を交えて述べていたが、第35期新潟市社会教育委員会議として全体で行っているものではないので、発表内容に盛り込むのであれば、よく整理したほうがよい。</li> <li>・自分たちが新潟市社会教育委員としてやってきたこと、わかってきたことを話せばよい。</li> <li>・他市町村にとっても「社会的包摂の実現に向けた社会教育の在り方の検討」は共通のテーマである。</li> <li>・最終的には第10回会議で教育委員会や関係する市長部局関係者に提言を聞いてもらい、具体的にどういう施策を考えるかまで検討してもらうことを目指したい。</li> <li>・新潟市社会教育委員会議の大きな役割は、それぞれが各地域や分野の代表として、新潟市の社会教育の方向性について検討することである。</li> <li>・分科会の発表では、最後のまとめとして、今後の建議策定の流れをスライド1枚にまとめられるとよい。</li> </ul> <p>(2) 第35期社会教育委員会議建議策定スケジュールについて</p> <p>○協議資料2に基づき、事務局より建議策定スケジュールについて説明しました。</p> <p>【主な質問・意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第10回会議では、建議の内容を発表するのか。そのための発表資料を作るのか。</li> </ul> <p>⇒胎内大会分科会での発表が建議の内容であるため、それを活かして発表資料を作成してほしい。</p> <p>(3) 第35期社会教育委員会議建議の構成と分担について</p> <p>○協議資料3に基づき、事務局より建議の構成と分担について説明しました。</p> <p>【主な質問・意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・質問や意見はありませんでした。</li> </ul> <p>○建議の構成と分担などについて各グループに分かれて意見交換を行いました。</p> <p>【主な質問・意見等】</p> <p>○「子どもと若者の参画を促すネットワーク」グループ</p> <p>&lt;子どもや若者がアウトプットする場を作ることについて&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもや若者の居場所づくりとして、まずは既存の社会教育施設をどのように活用できるかが大事である。</li> <li>・地域の困りごとの解決をしたい子どもたちがボランティアできるよう、地域とマッチングできる仕組みが必要。コミュニティ協議会や青少年育成協議会がそのマッチングを行うとよいのではないか。</li> <li>・ボランティアをしたい子どもたちをどのような施設（福祉施設や学童など）が受け入れるかについても検討が必要である。</li> <li>・イロトリドリや札幌市の若者支援総合センターは子どもや若者が「参加者」として「インプット」する居場所という認識だが、これからの学社民の融合という視点で考えると、子どもや若者が「参画者」として「アウトプット」し、自ら発信できる居場所を作るべきである。</li> <li>・地域であれば地域防災や地域のニーズにあった活動をすることで、自己実現をもたらす、図書館であれば貸出業務ではなく、本の紹介や図書館のPRを試みるなどがアウトプットの例としてあるのではないか。</li> <li>・公民館や図書館を居場所として利用するだけでなく、そこでアウトプットをする人がいてもいいのではないか。</li> <li>・コロナ禍以前、新潟市の坂井輪地区公民館や曾野木地区公民館では音楽室を利用</li> </ul>
------------	---

<p>内 容</p>	<p>していた子どもたちが、夏休みにバンドライブを自分たちで開催していた。坂井輪ふれあい祭りではフリースペースの利用者たちがバルーンアートを子どもたちに配布していたが、コロナ禍を経て無くなってしまった。</p> <p>&lt;青少年育成協議会の新たな役割の提案について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今までは青少年育成協議会が子どもたちの街頭パトロールを行っていたが、現在はシニア世代のヘルプのような仕事が多くなっており、青少年育成協議会そのものの必要性が問われる。</li> <li>・子どもたちにボランティアをさせるための、大人のボランティアがほしい。</li> <li>・地域教育コーディネーターと一緒にボランティアのマッチング、マネジメントを行うのが良いのではないか。</li> <li>・「青少年の健全育成」を「非行の防止」に特化しているが、青少年育成協議会の大綱を見直し、これからの「健全育成」はアウトプット（ボランティアのマネジメント）を新たな役割とするべきだ。</li> </ul> <p>○「共生社会の実現に向けた学びの在り方と取組のネットワーク」グループ</p> <p>&lt;建議の構成と役割分担について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建議の構成の順番は新潟県社会教育研究大会胎内大会分科会発表にあわせるべきである。</li> <li>・「第3章(3)課題」にはヒアリングの結果出た課題を書くべきか、グループとしての課題を書くべきか。</li> <li>・自分たちが社会教育委員として考えていた課題もあれば、実際にヒアリングして支援者の方が感じている課題もあるので、分けて書いたほうがよいのではないか。</li> <li>・課題と提言は章を分けずに一緒に書くとわかりやすいと思う。</li> <li>・「第3章(2)」の各ヒアリングの段階で、支援者の方が感じている課題を書き、「第3章(3)課題」は重複しても良いので総括したグループの課題を書いてはどうか。</li> </ul> <p>&lt;分科会発表内容の検討について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「協議資料1-1」の国際交流協会について「支援される側から支援する側へ」というのはどういう意味か。</li> <li>・今までは色々な人に支えられてきた外国籍の方が、今度は自分が他の国の方にそれをフィードバックする、支える側になる、という意味だと解釈した。</li> <li>・障がい者の方も外国籍の方も課題は似ているのではないか。支援される側から徐々に支援する側へ、そういう活躍の場が必要である。必要な人に必要な情報がタイムリーに適切に伝達できていないので、伝達できるようにするべきだ。</li> <li>・前回の会議では、新潟市は各地区公民館を超えた交流（横のつながり）がないということを課題視したが、横の繋がりについては何十年も前から、常に言われている課題ではないか。</li> <li>・「協議資料1-1」では、国際交流協会の現状についてまとめたスライドを削り、障がい者に関する学習支援の事例を付け足したほうがよいか。</li> <li>・新潟市は面積が広く、各地域で外国籍の方との交流の状況や属性も違う。県内の他市町村で多文化共生が盛んな地域もあるので、その事例を教えてもらうといいのかもしれない。</li> <li>・私たちはまだ建議作成の段階のため、提言まで発表できなくても良いと思う。</li> <li>・新潟市の現状については、公民館の利用状況を外国籍の方と障がい者の方で分けて説明するとよい。</li> </ul>
------------	--

内 容	<p>4 その他 ○第9回の会議について、令和6年1月18日（木）午後3時から5時までクロスパ ルにいがたで開催することを確認しました。</p> <p>5 閉会</p>
傍聴者	0名
会議資料等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第35期新潟市社会教育委員会議（第8回）次第</li> <li>・ 報告資料1 新潟市社会教育委員会議開催日程及び各種大会・研修日程について</li> <li>・ 協議資料1-1 第23回新潟県社会教育研究大会胎内大会分科会 当日資料</li> <li>・ 協議資料1-2 第23回新潟県社会教育研究大会胎内大会分科会 発表概要</li> <li>・ 協議資料2 第35期社会教育委員会議建議作成スケジュール</li> <li>・ 協議資料3 第35期社会教育委員会議建議の構成について（案）</li> </ul>